


## 涼しい制服、男女ともデザインは一緒



ポロシャツとハーフパンツの夏服。シャツは半袖と長袖の2種類で、どちらを着ても構わない=2026年6月2日午後4時22分、福島県会津若松市相生町の会津北嶺高校 

会津若松市相生町にある私立の会津北嶺高校は1日から夏服に衣替え。1年生はポロシャツとハーフパンツを着て登校した。

昨年が猛暑だったこともあり、涼しくて楽に着ることができる新しい制服を導入することにした。複数の制服業者に提案してもらい、紺のポロシャツとベージュのハーフパンツに決定。中学生もやって来る学園祭で披露した。

素材は上下ともポリエステル100%で、家に帰って洗濯すれば翌朝には乾いている。デザインは男女とも全く一緒だ。肌寒さが苦手だったり、日焼けがつかったりする生徒に配慮し、半袖に加え長袖も選べる。上下1枚ずつで1万円弱で、2～3年生のスラックス1本より安いという。

1年生の鈴木翔大（とあ）さんは「涼しいし、部屋着みたいで落ち着く」。ただ、初日の1日は登校中に同級生の誰にも会わず、「本当に今日から着てきて良かったのか」と教室に着くまで不安になった。

石黒巴捺（ともな）さんは自転車通学。スカートが風でめくれる心配をしなくて良くなったことを喜んだ。飯嶋悠（ゆう）さんは体育の前後で、すぐに着替えられるのが気に入った。「スカートやブラウスより簡単にたたため、しわもつかない」と話す。